



ユアサ商事株式会社

マレーシア・ムルボック湿地保護林における「ユアサ商事の森プロジェクト」 2022年度 第1回 植樹プログラム実施のお知らせ ～地域住民参加によるマングローブ林再生を通じた環境保全活動～

ユアサ商事株式会社（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：田村博之 東証プライム：8074）は、公益社団法人日本マレーシア協会（東京都千代田区 理事長：小川孝一）と協働で、マレーシア国クダ州ムルボック湿地保護林において、マングローブ林再生を通じた環境保全活動「ユアサ商事の森プロジェクト」における、第1回植樹プログラムを実施いたしましたのでお知らせいたします。

1. 実施目的

弊社との関係が深いマレーシアの熱帯雨林の再生・保護と、弊社グループが目指すESG経営&SDGsの実現（気候変動への対策《森林や生物多様性の維持》）に向け、マングローブの植樹活動を開始いたしました。

2. 実施日

2022年12月3日（土曜日）

※当初この活動は2020年度より開始予定でしたが、新型コロナウイルスの影響により2022年度より開始いたしました。

3. 実施場所

マレーシア国クダ州クアラ・ムダ管区スンガイ・プタニ地区（ムルボック湿地保護林内森林劣化地域 約200ha）

4. 参加者

人数：50名

詳細：マレーシア理科大学教育学部生25名、教員・職員10名、地域住民12名、クダ州森林局員3名

5. 実施内容

- ① マレーシア理科大学教育学部 准教授による事前学習
学習内容）マングローブ林の特徴、人々の暮らしとの関係、保全、植林の重要性などについて
- ② 400本の苗木（オオバヒルギ、フタバナヒルギ）を植林

6. 今後の予定（～2023年3月）

- ① 育苗と植林を継続（合計1千本を予定）
- ② 植栽木のメンテナンス作業
- ③ 環境教育プログラムの実施
活動地周辺の小学生がマングローブ林保全の必要性を学ぶためのプログラム実施予定
- ④ 生活向上プログラムの実施
活動地域の村人の生活向上のためのプログラムを予定

※ 「ユアサ商事の森プロジェクト」についての詳細は、2020年4月2日付リリース「マレーシア・ムルボック湿地保護林における「ユアサ商事の森プロジェクト」開始のお知らせ」をご参照ください。

マレーシアでの事前学習・植林活動の様子



参加者はユアサロゴ入り専用Tシャツを着て実施



事前学習の様子



「ユアサの森」の立て看板

《本件に関するお問合せ先》

ユアサ商事株式会社 総合企画部 TEL:03-6369-1133 E-mail:koho@yuasa.co.jp